

バ保連ニュース(日本バプテスト保育連盟 発行)

～バプテストのバトンをつないで～ 2021年7月 VOL.3

聖書 夜も昼のようにかがやきます。(口語訳) 詩篇 139:12b
～わたしたちは主イエスにより、他の塩世の光とされています。夜の闇のような
世の中の状況にあっても、私たちは主によって昼のように輝き、証をするのです。～



聖名を讃美し、御恵みに感謝申し上げます。

日本バプテスト保育連盟に繋がる各団体の皆様におかれましては、新型コロナウイルスが招いた危機的状況が深刻化する中、張り詰めた緊張を伴いながら、忙しい毎日をお過ごしのことと存じ上げます。一刻も早い収束の時が与えられますようにと、日々の祈りを重ねております。

私の生まれは昭和33(1958)年です。東京オリンピックが開催されたのは、私が小学校に上がる1年前のことでした。TVで「はじめてのおつかい」という番組がありますが、私の「はじめてのおつかい」は、いつも家の近所にやってきた"ロバのパン屋"でジャムパンを1つ買ったことでした。♪いつも町までチンコロリ～ン♪という、今も変わらない楽しげな音楽が鳴ると、子どもたちが一斉に「ワーッ！」と歓声をあげて、ロバのパンの馬車(何故か馬が曳いていた)に群がっていました。私の家は、子どもにはお金を与えない主義でしたから、いつも私は近所の年上の子どもが買い物をする姿を、羨ましく眺めるだけでした。

しかしある時、初めて母から小遣い貰うことになり、喜び勇んで10円玉を握ってパン屋のおじさんに渡しました。その時ジャムパン1つを買って、2円のお釣りを貰いました。

それから間もなくして、同じように10円を持って買いに行くと、同じジャムパンは12円になっていて買うことができませんでした。その1年後には8円だったパンは、34円になっていました。1年間で物価が4倍以上に上がったことになります。

世に云う「高度成長期」が始まった時代が、私の幼少期で、世の中の景気がよくなり、物価がどんどん上がっていったことを子どもながらに感じました。父親たちの給料も、驚くように値上がりし、日本中の誰もが未来に夢を描くことができました。

その後、バブルが弾けた1990年代以降、景気は低迷していくことになります。その大きな原因の一つは、人口減少、つまり、経済を支える生産者人口が減少していったことにあります。私と同じ歳の新生児の数は、約165万3千人ですが、昨年2020(令和2)年に生まれた新生児は、87万3千人です。約1/2の数になった子どもの人口、その子どもたちの20年後の日本は、果たして今に比べて住みやすいと言えるでしょうか。私は突きつけられる事実を前に、大きな不安を感じます。

私たちは、この厳しい現実を知った上で、子どもたちを社会の荒波に手放していかなければなりません。ですから、子どもたちが未来を切り開いていく力を持つために、祈りつつ、愛をもって彼らの体躯を養い、耐性を培い、協調心を育てる責務が我々にあります。子どもたちが、自分で未来を選び取る力を備える日まで続く、彼らへの責務です。

私たちは、かかる重大な課題を前にして、苦慮しながら日々を歩む中で、共に祈り合い励まし支え合うことが許されたバ保連の皆様との繋がりが、如何に尊く感謝であるかを思います。

バ保連に繋がる全ての皆様の上に、主のお守りとお恵みとが豊かにございますようにお祈り申し上げます。

主に在りて バプテスト保育連盟 会長 田中 秀一

日本バプテスト保育連盟の歴史

日本バプテスト保育連盟(通称:バ保連)は、日本バプテスト連盟発足直後、第4回連盟年次総会(1950年)で決議し結成されました。

当初、幼稚園・保育園の開設や設備(ピアノ等)充実の補助等をボードから受ける為の仲介的な働きを行っていました。

その後、幼児教育充実発展に伴い学校法人化の課題等に関わり今日に至っています。

2021年度役員

- 会長：田中秀一 シオン山教会
(北九州市 愛の園保育園 園長)
- 副会長：久保田信人和歌山バプテスト教会
(和歌山市 和歌山ひかり幼稚園 副園長)
- 役員：石垣慶子 仙台基督教会
(仙台市 仙台バプテスト教会幼稚園 園長)
中島美香 目白ヶ丘教会
(新宿区 目白ヶ丘幼稚園 園長)
- 事務局：中條信治 宮崎キリスト教会
(宮崎市 みくに幼稚園 副園長)
宮崎市吉村町北原 1405-15

TEL0985-29-5451

バ保連の会費は？

この会費は イエス様が大切にされた最も小さきこどものために働く保育者の研修や情報交換、情報提供のために用いられます

☆年会費

- 無認可園 5,000円
- 認可保育所・幼稚園 10,000円
- 施設型給付園 20,000円

☆振込先

- ゆうちょ銀行記号：17470
番号：83555851
- 他行から
店名：七四八(店番748)
普通：8355585
- 名前：日本バプテスト保育連盟
(ニホンバプテストホイクリンメイ)

私たちはバ保連です！

私たちは日本バプテスト連盟に加盟する教会とつながっている全国のキリスト教幼児教育施設の協力体である「日本バプテスト保育連盟」です。通称「バ保連(バホレン)」と呼んでいます。

それぞれ自由意志に基づき、研修・研究と親睦、情報交換を主な活動として集まっています。

コロナ禍の前は、天城山荘で講師を招いての教師研修会やレクレーション・親睦、設置者・園長会などを毎年開催し、相互に学び、励まし合ってきました。

私たちは、バプテストの信仰に立つバプテストファミリーの一員です。是非仲間に加わってください。あなたの参加を切に祈り願っています。そして、幼児と共に主イエス様のめぐみに与って参りましょう。

金沢めぐみ幼稚園園長 田口昭典

・祈りの課題

- 幼な子と保育者の救いのために。
- 保護者に子育ての喜びと安心を。
- 若者をキリスト教保育に送り出す。

皆さまの祈りに加えて頂ければ幸いです。

・お知らせ

2020年度日本バプテスト保育連盟保育者研修会は新型コロナウィルス感染症のため中止しました。

2021年度について役員会で検討しました。現状では全国から集まることが難しいと判断しました。そこで甚だ残念ではありますが2021年度日本バプテスト保育連盟保育者研修会は中止といたします。

園紹介 学校法人神愛学園 幼保連携型認定こども園みくに幼稚園

～神さまに愛されている恵み～

みくに幼稚園は、宮崎キリスト教会の地域への宣教の働きとして1954年4月に「みくに保育園」として開設されました。1960年3月に宮崎県の認可を受けて、「宗教法人宮崎キリスト教会付属みくに幼稚園」として再出発し、2004年4月に「学校法人神愛学園 みくに幼稚園」と改組、2017年6月より「幼保連携型認定こども園」となりました。0歳児から年長児までたくさんのかどもたちが、毎日、笑ったり、泣いたりしながら元気に過ごしています。

昨年度、そして、2021年度も同労者の皆さまと同じように新型コロナウィルス感染症の影響を受けながらの保育を続けています。宮崎県は他の地域と比べると比較的感染が広がっていない（2021年5／10には県独自の緊急事態宣言が発令されました）こともあり、昨年度は運動会、クリスマス発表会も来場者を制限した形で行うことができました。

みくに幼稚園は、神さまに愛されている恵みに感謝する時として、礼拝を大切にしています。毎朝のクラスでの礼拝、月曜日教会堂に全クラスが集まり合同礼拝を行います。お祈り、賛美、聖書の暗唱、メッセージ等、賑やかで素敵な時間を過ごしています。

新型コロナウィルス感染拡大の影響はこれからも続くように思われますが、神さまから託されている「キリスト教保育」の使命を、神さまに支えられながら果たしていきたいと思います。

同労者のみなさまの上に主の祝福をお祈りいたします。 副園長・理事長 中條信治



全園児による礼拝

年長児園庭遊び



012歳児クラス
給食風景

